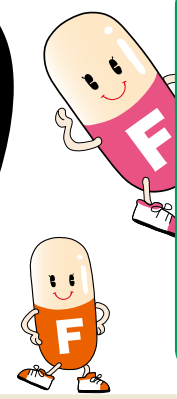
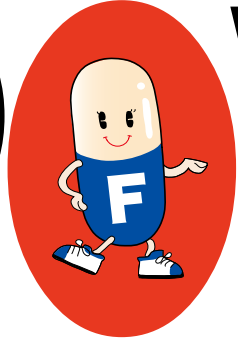


POWER!



2024年
1月
vol. 88

令和6年(2024年)
1月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 4月、7月、10月、1月

<http://www.yakuren.jp>

新年のご挨拶

日本薬剤師連盟 会長 山本 信夫



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の感染状況が再開されました。しかし、感染症を完全に制御できたわけではありません。これからは、国民一人一人が健康状態を自ら確認することが不可欠で、地域住民のセルフケア/セルフメディケーションへの積極的な支援は、これまで以上に地域の薬剤師・薬局の重要な役割となります。

また、本年6月には、医療・介護報酬に加えて障害福祉サービス等報酬を含むトリプル改定が予定されています。日本薬剤師連盟では日本薬剤師会と連携を取り、

改定財源の確保と同時に、医科・調剤の公平な配分の維持、長引く医薬品の供給不足の改善対策等に対して、薬剤師問題議員懇談会の議員の先生方をはじめ、関係各方面へ働きかけを進め、問題の解決に向け引き続き積極的に関わっていく所存です。

さて、本年は連盟活動を本格化する年です。後援会の名簿収集活動や支部訪問など、組織内統一候補として決定している本田あきこ先生の支援活動に全力で取り組んでいかなければなりません。2期目のシンクスに打ち勝ち、組織代表二人体制を維持するため、全身全霊で取り組むことをお誓いするとともに、本年が薬剤師にとって輝かしい年になることを祈念申し上げ、新年の挨拶いたします。

新年のご挨拶

日本薬剤師連盟 幹事長 川田 哲



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

3年半続いたコロナ禍は、昨年5月に感染症法上の位置付けが5類に移行し社会経済活動も回復しつつありますが、物価高騰が続く中で、診療報酬(調剤報酬)の改定、医薬品供給問題、医療DXの推進など、薬剤師を取り巻く課題は山積しています。

このようなかで本田あきこ参議院議員は、昨年5月より全国都道府県訪問を実施しました。現職の国会議員として十分な活動がままならない状況もありましたが、中央後援会役員による訪問も含めて、おかげさまで年末まで訪問を終了する

ことができました。都道府県の皆様にも大なるご協力をいただきましたこと、あらためまして感謝申し上げます。

4月からは名簿収集活動が始まります。2期目は厳しいと言われており、活動も制限されることが予想されるため、皆様の強力なバックアップが不可欠です。今年草木が成長して形が整った様子を表すとされる「辰」の年であり、参議院議員二人体制を継続できるように、来年の本番に向けて体制を整えるべく皆様とともに全力を尽くしてまいります。

本年が皆様方にとって実り多い年となりますことをお祈り申し上げますとともに、連盟活動への引き続きのご協力をご支援をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

日本病院薬剤師連盟 会長 武田 泰生



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症への対応を要した日々でありました。昨年5月には感染症の分類が変更され、一般的には徐々に従前の様子に戻りつつあるものと存じます。しかしながら、医療機関、薬局、関係の皆様にとっては、特にこの冬季にあつてはインフルエンザ対応も合わせて十分な感染対策が必要です。

ご存知のように、本年6月の診療報酬改定では医療・介護・障害福祉サービスのトリプル改定となりますが、これを機に制度間の調整が行

われることとなるため、重要かつ大規模な改定となることを予想されます。また、これからは医療DXといった展開にも合わせた対応が求められることとなります。このような時代の潮流に伴い薬剤師の資質向上を目指すうえで、卒前の薬学教育をより充実させる必要があるのではないのでしょうか。昨秋の事となりますが、本田あきこ参議院議員が文部科学大臣政務官に就任されました。多めに活躍を期待申し上げます。そして、日本病院薬剤師連盟は本田議員の支援に向けて尽力したいと考えております。関係各位の皆様にとりまして、本年が良き年になりますことを心から祈念しております。

新年のご挨拶

日本女性薬剤師連盟 会長 近藤 由利子



明けましておめでとうございます。皆様方にはお健やかに良き新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は日本女性薬剤師連盟への暖かいご支援を賜り、有難うございました。

薬局と薬剤師の職能の向上がより一層期待されている昨今、特に女性の持つ感性を生かすといった女性ならではの視点がより一層重要になって来ています。本田あきこ先生は、昨年十月より文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に就任され、これまでの厚労分野に加え、更に活躍の場を広げていらっしゃいます。現職ゆえなかなか現

場を回れない事もあることかと思えます。現在、参議院厚生労働委員会委員の神谷まさゆき先生と共に参議院議員二人体制を維持できるように、私どもも出来る限りのバックアップをする覚悟です。今後共、お二人に対し、暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

日本女性薬剤師連盟は、今年も皆様からのご支援、ご指導の下、活動理念に添った新時代の活動を行って参ります。ご指導のほどよろしくお祈り申し上げます。

末筆ながら、本年が皆様にとりまして輝かしい良き年となりますように祈念申し上げます。

風力計



日本薬剤師連盟 常任総務 橋本 昌子

「有り難い」の言葉の由来

「ありがた」とは感謝の気持ちを表す言葉ですが、このありがたの語源は、有り難し、つまり「有ること」が「難い」ということで、本来は「滅多にな」という意味を表す言葉です。

これは、佛教に由来し、貴重で得難いものを自分は得ていることに対してつかわれていたが、現在では感謝の意味として広がったそうです。お釈迦様が説かれた「盲亀浮木(もうきふぼく)のお話」に「ありがた」との語源がありますので紹介します。

お釈迦様が阿難というお弟子さんにたとえ話をされました。

「人間に生まれることがどれほど有難いことか、たとえをもつて教えよう。果てしなく広がる海の底深くに、目の見えない一匹の亀がいて、100年に1度、海面に顔を出す。一方、海面には真ん中に小さな穴のあいた一本の丸太棒が漂っている。100年に1度浮かび上がる亀が、浮かび上がったとき丸太の穴に頭を入れることが有ると思うか?」

阿難は、「広い海に漂っている丸太の穴に頭を入れることは到底できないと思います。でも、絶対にないかといわれれば、絶対はないとは言いがたせん。」と答えました。その時、お釈迦様は、「私たちが人間に生まれることは、その亀が、丸太の穴に首を入れることよりも、難しいことなのだ。有り難いことなのだ。」と教えられたそうです。

「ありがた」との語源を知ると、「ありがた」という言葉だけでなく、その奥に、「ありがたう。感謝します」という「感謝」の気持ちがあると感ずります。

人間に生まれたことが、貴重で有難いことなのだ。感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。

全国若手薬剤師 フォーラム2023 開催される！

令和5年10月8日(日)・9日(月・祝)、クロスウェーブ船橋にて全国若手薬剤師フォーラム2023が「仲間を増やすために何をすべきか、あと1票を獲得するために」をテーマに4年ぶりに参集して開催された。

本田あきこ参議院議員より政務官としての活動、組織力強化の必要性について、澤勢瑞城長崎市議会議員(薬剤師)より自らの体験から仲間づくりの大切さについてそれぞれ講演いただき、続いて「若手薬剤師フォーラムの開催実践発表」として青森県、大阪府、和歌山県の参加者より発表していただいた。

その後、都道府県規模別グループに分かれて「自分たちならどのように仲間を増やし、選挙にのぞむか」をテーマにスモールグループディスカッションIを行った。夕食を挟んで行われたスモールグループディスカッションIIおよび幹事長と語る会は大いに盛り上がり、参加者同士の繋がりがしっかりとできたことが感じられた。

2日目はスモールグループディスカッションの成果発表の後、名簿収集がなぜ必要なのかについて大澤泰輔副会長に講演いただいた。

フォーラム終了後、各自移動して国会議事堂見学を行った後、現地解散となり、参加者は熱い想いを胸にそれぞれの地元へと戻っていった。



Aグループ (鳥取県、福井県、山梨県、島根県、徳島県、高知県)



●スモールグループディスカッション I



グループ発表

Bグループ (石川県、和歌山県、佐賀県、富山県、山形県)



●スモールグループディスカッション I



グループ発表

Cグループ (秋田県、香川県、宮崎県、滋賀県、沖縄県、大分県)



●スモールグループディスカッション I



グループ発表

Dグループ (青森県、熊本県、愛媛県、岩手県、長崎県、栃木県)



●スモールグループディスカッション I



グループ発表

Eグループ (山口県、三重県、群馬県、岡山県、福島県、鹿児島県)



●スモールグループディスカッション I



グループ発表

Fグループ (岐阜県、宮城県、長野県、京都府、茨城県)



●スモールグループディスカッション I



グループ発表

Gグループ (広島県、静岡県、埼玉県、神奈川県、千葉県、北海道)



●スモールグループディスカッション I



グループ発表

Hグループ (兵庫県、福岡県、愛知県、大阪府、東京都)



●スモールグループディスカッション I



グループ発表

新年挨拶

年頭のご挨拶

衆議院議員・薬剤師
逢坂 誠二



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

ロシアによるウクライナ侵攻は終わりが見え、中東でも悲惨な紛争が勃発し、円安と物価高騰は継続、新型コロナウイルス感染症は、未だ感染リスクはなくならない現状で、薬剤師の皆様への献身的なご尽力によって、国民の命と健康が支えられておりますこと、心からの敬意と感謝を申し上げます。

昨年、私を中心になって、薬価改定の問題、今後の医薬品産業のあり方などについて、政府へ提言を行ないました。医薬品供給の不安定な状況が続く、医薬品の安定供給基盤が失われかねない状況の中で、国会がこれら問題にしっかりと向き合わなければなりません。

トリプル改定が行われる本年、薬剤師の役割の重要性がしっかりと評価されるためにも、日本薬剤師連盟の皆様と力を合わせ、山積する課題解決のために、私逢坂誠二は、引き続き、国会の場で全力を尽くしてまいります所存です。

この一年が皆様にとりまして、更なる飛躍の年となりますことを心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

愛と希望の一年に

参議院議員・薬剤師
本田 顕子



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は連盟行事におきまして特段のご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

特に物価上昇・賃上げ対策に必要不可欠な報酬改定の議論の際は全国的な活動を展開していただきました。党内の意見集約の過程で組織議員としての歩みが続けることができるのも皆様のおかげと深く感謝しております。

私は400日間の厚生労働大臣政務官の任を終えて間もなく、文部科学大臣政務官を拝命しました。盛山文部科学大臣は先の臨時国会での所信の中で「明日は今日より良くなる、誰もがそう思える社会を形成していけるように、文部科学行政を着実に進めていきたい」と挨拶されました。

科学技術イノベーションを推進して革新的な創薬につなげ、そこから生まれる成果(医薬品)を専門家たる薬剤師が適切に取り扱うことで、全国各地で「今日よりも良い明日」を導き出すことができます。

薬剤師や薬業を取り巻く現下の課題と向き合っ解決を図り、日頃ご指導いただいたとおり、皆様から愛と希望を持って充実した社会活動を行える一年となるよう、信念に基づいて歩んでまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

年頭所感

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



新年明けましておめでとうございます。

日本薬剤師連盟の先生方におかれましては、お健やかに輝かしい新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より温かいご支援を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして、深く御礼を申し上げます。

昨年の国会で、薬剤師が関わる将来の医療DXについて発言しました。電子処方箋の本格運用によって薬の重複チェックが可能となり、今後マイナポータルから収集される薬剤情報や特定健診情報等、ネットワークを通じた様々な情報は拡大すると思われれます。薬剤師による細やかな患者情報の収集と、患者さんに寄り添った服薬指導にデジタル情報が加わり、薬物療法の質はさらに向上し、その先には、共に標準化された電子カルテと調剤録の共有や、電子化されたトレーシングレポートの活用による、副作用対策や医療の適正化が期待されます。

本年も薬剤師の未来に向けて、しっかりと仕事をし、参る所存です。引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

日本薬剤師連盟の先生方のご活躍と、会員の皆様にとりて本年が素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



会長及び監事選挙並びに候補者届出の受付に関する公示

日本薬剤師連盟 会長 山本 信夫

本連盟の令和5年度定時評議員会を令和6年3月27日(水)に開催いたします。当日は、本連盟の「会則」、「会長及び監事選挙規則」及び「同規則施行細則」により、令和6年4月1日から令和8年3月31日までを任期とする次期会長1人、監事3人の選挙を行います。自ら候補者になろうとする会員、候補者を推薦しようとする会員は、下記により届け出てください。

記

- (1) 候補者の資格は令和6年1月27日(土)までに都道府県薬剤師連盟に入会手続きを完了している会員に限ります。
- (2) 届出の受付期間は、令和6年2月26日(月)から3月12日(火)までの午前9時から午後5時までとし、本連盟事務所で受け付けます。但し土曜日、日曜日と祝日を除きます。
- (3) 届出の締切日時は令和6年3月12日(火)午後5時です。締切日時後の届出は受け付けられません。郵送による場合は、必ず書留をご利用下さい。締切日時までに到着したものを有効とします。
- (4) 立候補届出書(又は候補者推薦届出書と承諾書)をはじめ、必ず添付しなければならない書類の様式は全て規定されております。届出関係書類一式あるいは本連盟規約等諸規定は、ご請求下されば郵送いたします。

お問い合わせは本連盟事務局
03-3225-3100

くお願いいたします。

編集後記

国が変われば対応も変わる

仕事でオーストラリアのプリズベンに行った時に、会場に行くために電車に乗り、別の線に乗り換えるために、とある駅で会場に向かう電車を待っていた。ホームには10人もいなかった。

初めての駅であり、電車が来るまで10分ほどあったので、どんな感じの駅なのかホームの端から端まで歩いていたら、後ろから英語でなにか話しかけられたので振り向いた。

すると2人のオレンジ色のベストを着た男性が英語で「ここを歩いては駄目です。」と話しながら手で移動しなさいとジェスチャーをした。ふと自分の歩いている所を確認すると、日本の駅と同じような点字ブロックがあり、その線路側を歩いていたことが分かった。

どちらのホームにも電車が来るまで5分程度もあるのに、電車が来なくても歩いては行けない所は歩かないことを普段から習慣化しているのだと思った。確かに周りの現地人は点字ブロックのホーム側で待っていた。

日本は電車がホームに入ってくる時、駅員さんが点字ブロックの内側を歩くようアナウンスしているが、オーストラリアは電車が来てもアナウンスはしない。普段から点字ブロックの内側を歩くよう習慣化している国なのかもしれない。

(K.I.)



広報委員

- 原口 亨、石井 甲一
- 浜田 嘉則、橋本 昌子
- 和泉啓司郎、小屋敷淳子
- 堀越 博一、渡邊美知子